

最近の経済動向

平成28年4月号

(平成28年2月の経済指標を中心として)

【北海道の景気概況】

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

〔需要動向（消費・投資）〕

- P 1 ■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる
百貨店・スーパー販売額
コンビニエンスストア販売額
新車登録台数
- P 2 ■住宅建設～ 下げ止まりつつある
新設住宅着工戸数
- P 3 ■公共工事～ 増加している
公共工事請負金額
- P 3 ■観光～ 改善している
来道者数
- P 4 ■輸出入～ 輸出額、輸入額とも前年を下回った
輸出入額

〔生産動向〕

- P 5 ■生産活動～ 一進一退の動きとなっている
鉱工業生産指数
- P 5 ■電力～ 前年を下回った
電力需要
- P 6 ■企業倒産～ 倒産件数、負債総額とも減少した
企業倒産件数
負債総額

〔雇用動向〕

- P 7 ■求人・求職～ 改善している
月間有効求人数・求職者数
有効求人倍率
- P 8 ■失業
完全失業者数
完全失業率

〔物価動向〕

- P 8 ■物価～ 消費者物価指数は前年を下回った
消費者物価指数

〔企業情報〕

- P 9 ■企業のみなさまから伺いました

〔地域の経済動向〕

- P 10 ■地域の経済動向
道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

〔景気動向指数・全国の景気〕

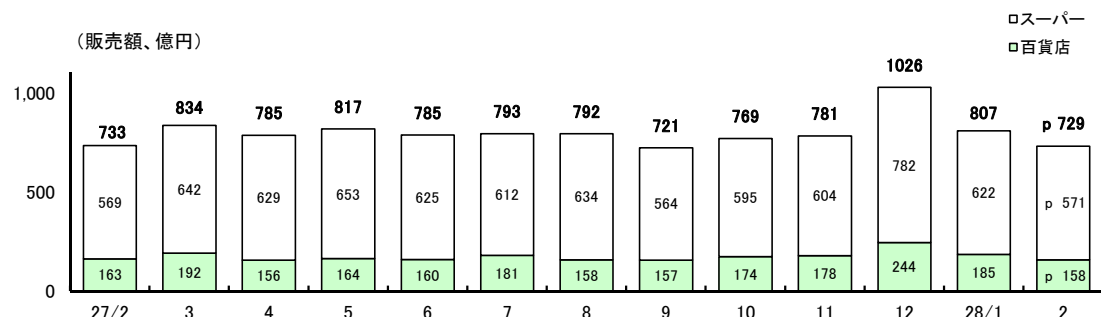
- P 16 ■北海道の景気動向指数
- P 17 ■全国の景気

[需要動向(消費・投資)]

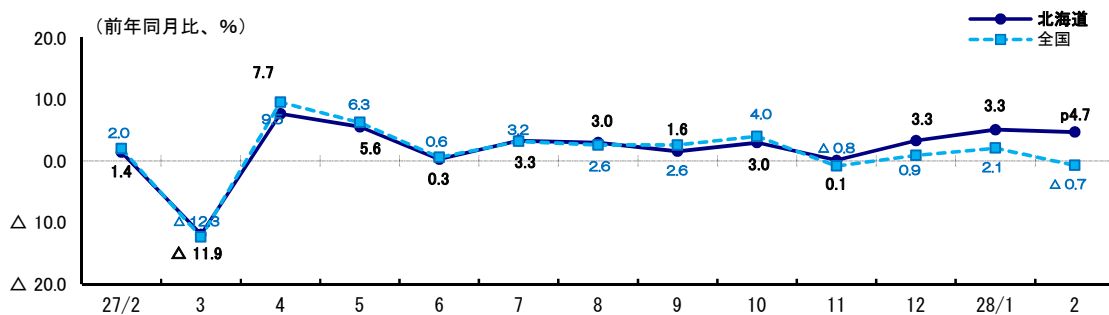
■個人消費～ 緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(2月)◆

百貨店・スーパー販売額は、729億円で前年同月比4.7%の増加となり、11か月連続で前年を上回った。



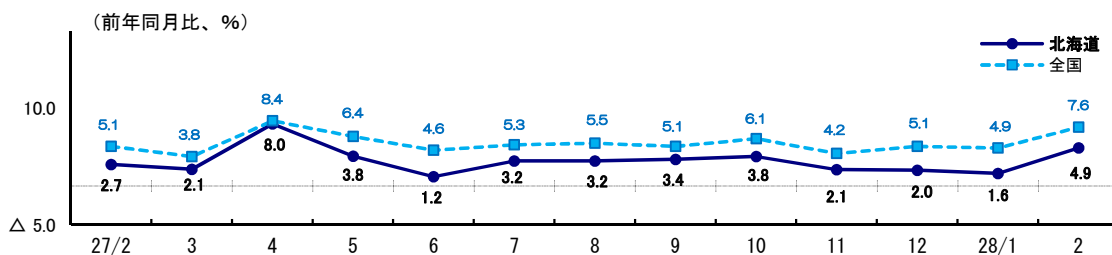
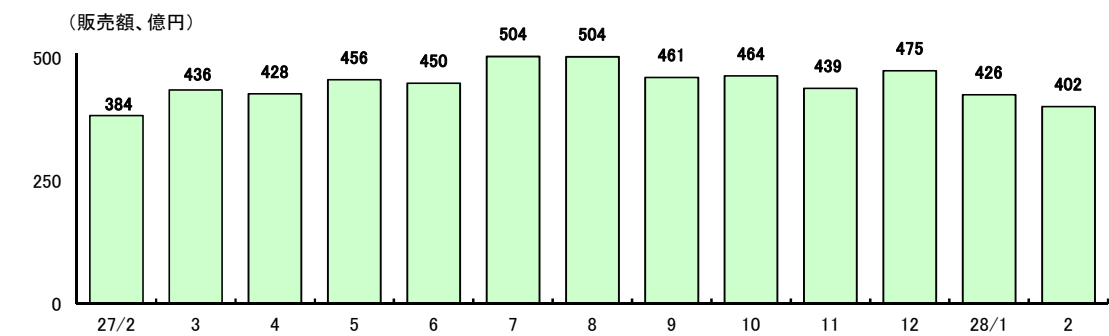
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(2月)◆

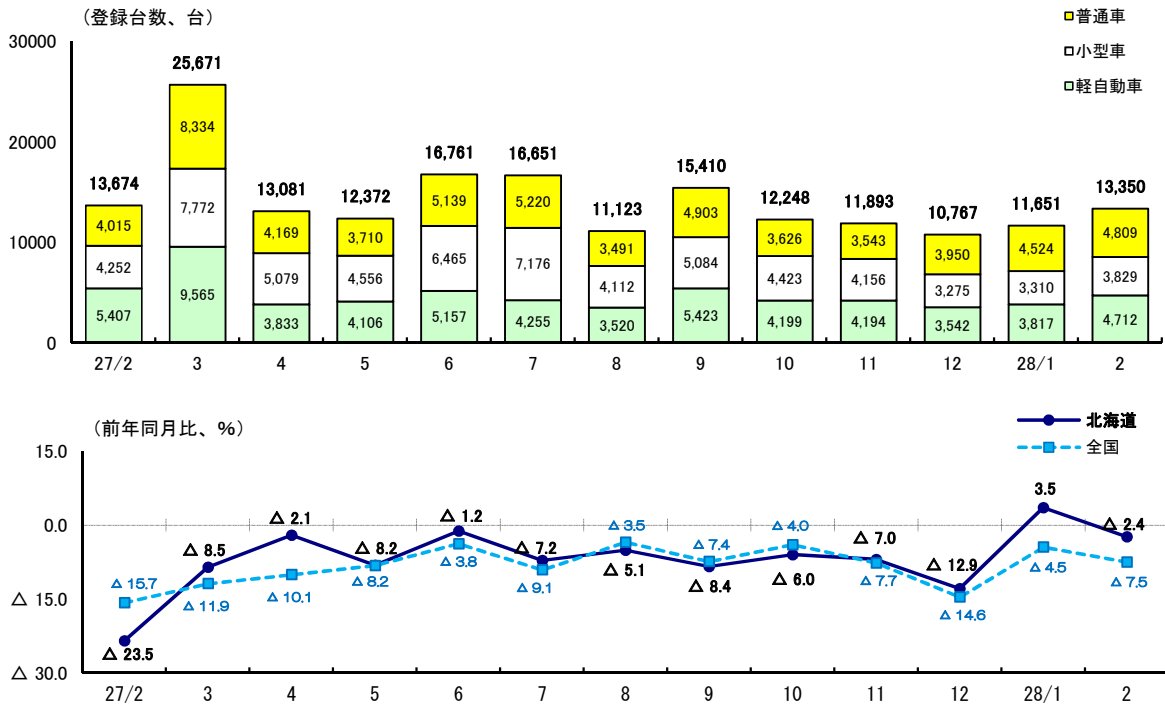
コンビニエンスストア販売額は、402億円で前年同月比4.9%の増加となり、29か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（2月）◆

新車登録台数は、13,350台で前年同月比2.4%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

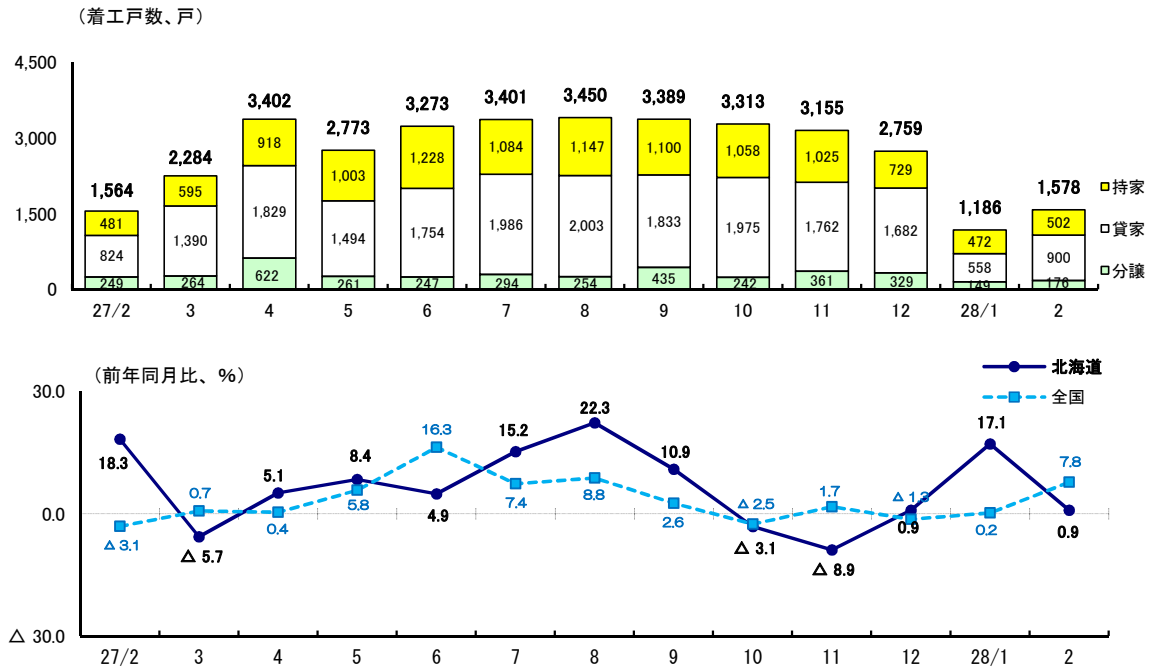


(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設 ~下げ止まりつつある

◆新設住宅着工戸数（2月）◆

総戸数は、1,578戸で前年同月比0.9%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

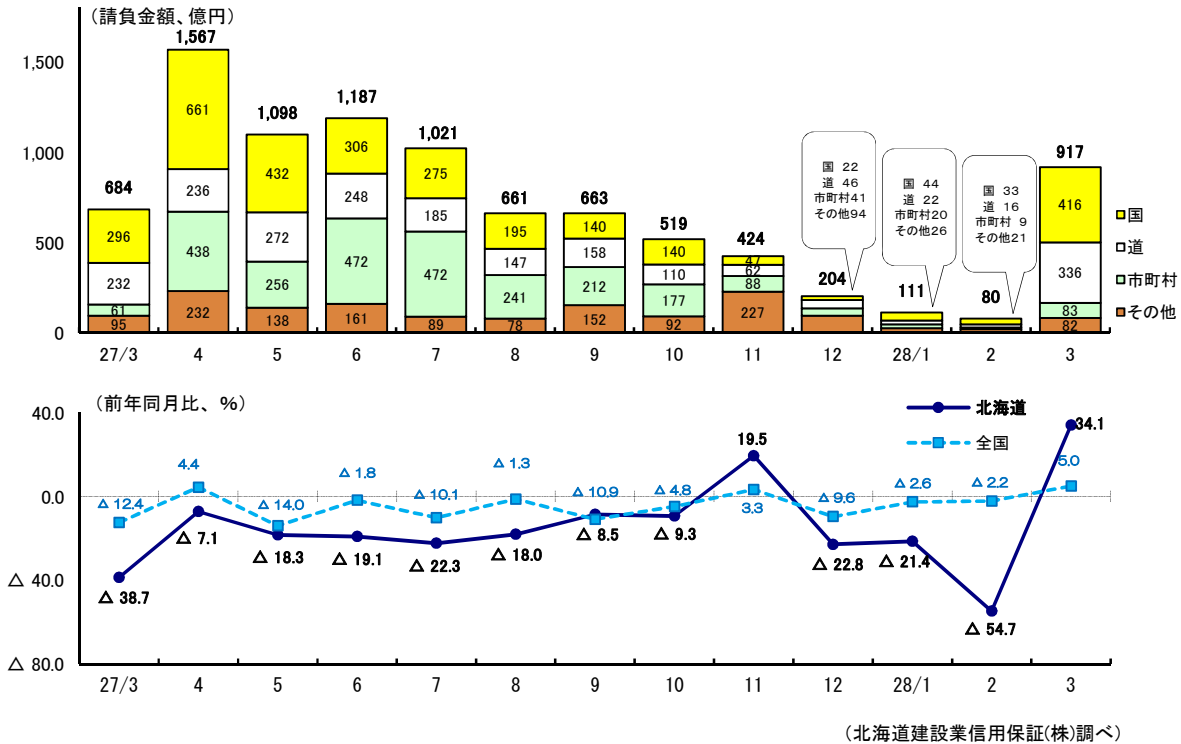


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事 ～ 増加している

◆公共工事請負金額（3月）◆

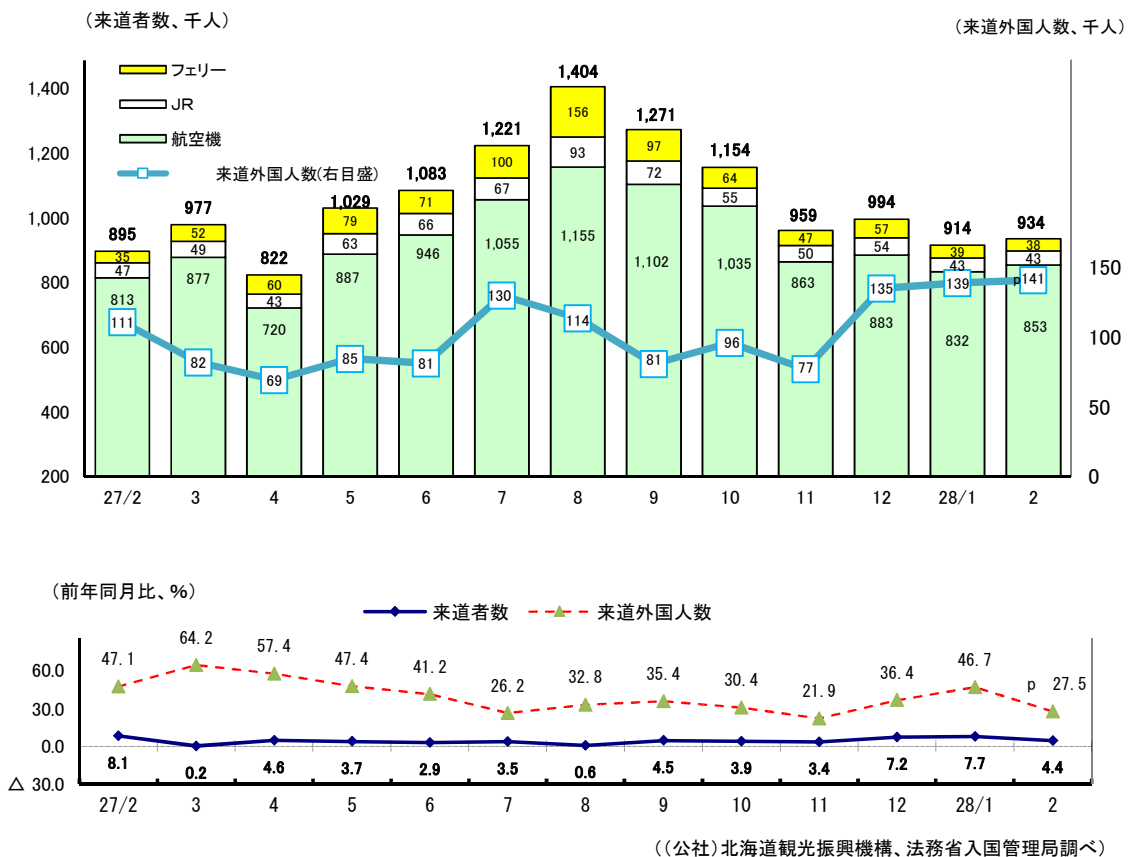
請負金額は、917億円で前年同月比34.1%の増加となり、4か月ぶりに前年を上回った。



■観光 ～ 改善している

◆来道者数（2月）◆

来道者数は、93万4千人で前年同月比4.4%の増加となり、16か月連続で前年を上回った。
本道に直接入国した外国人は、14万1千人で同27.5%の増加となり、37か月連続で前年を上回った。

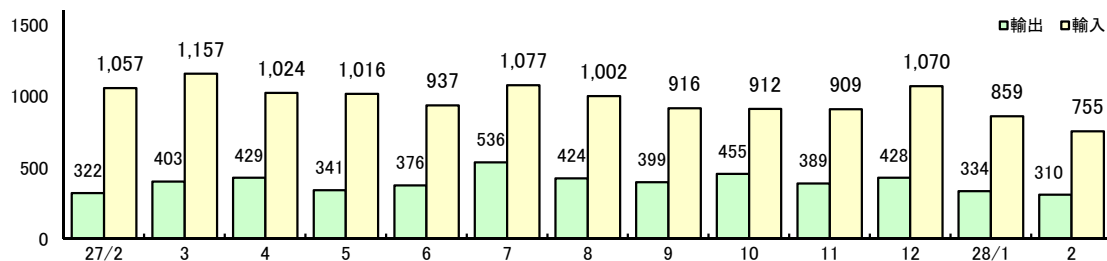


■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

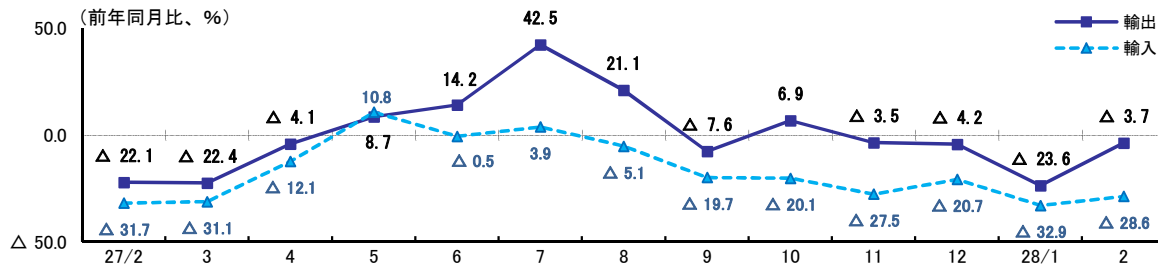
◆輸出入額（2月）◆

輸出額は、310億円で前年同月比3.7%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。
輸入額は、755億円で同28.6%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。

(輸出入額、億円)



(前年同月比、%)



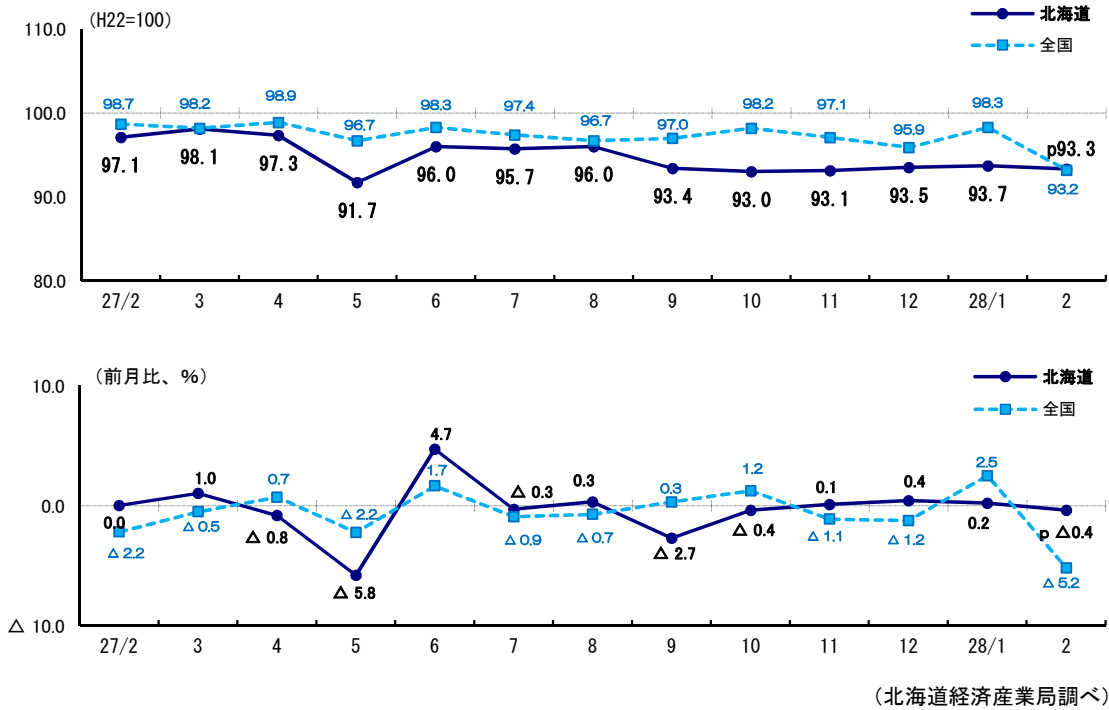
(財務省、函館税関調べ)

[生産動向]

■生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（2月）◆

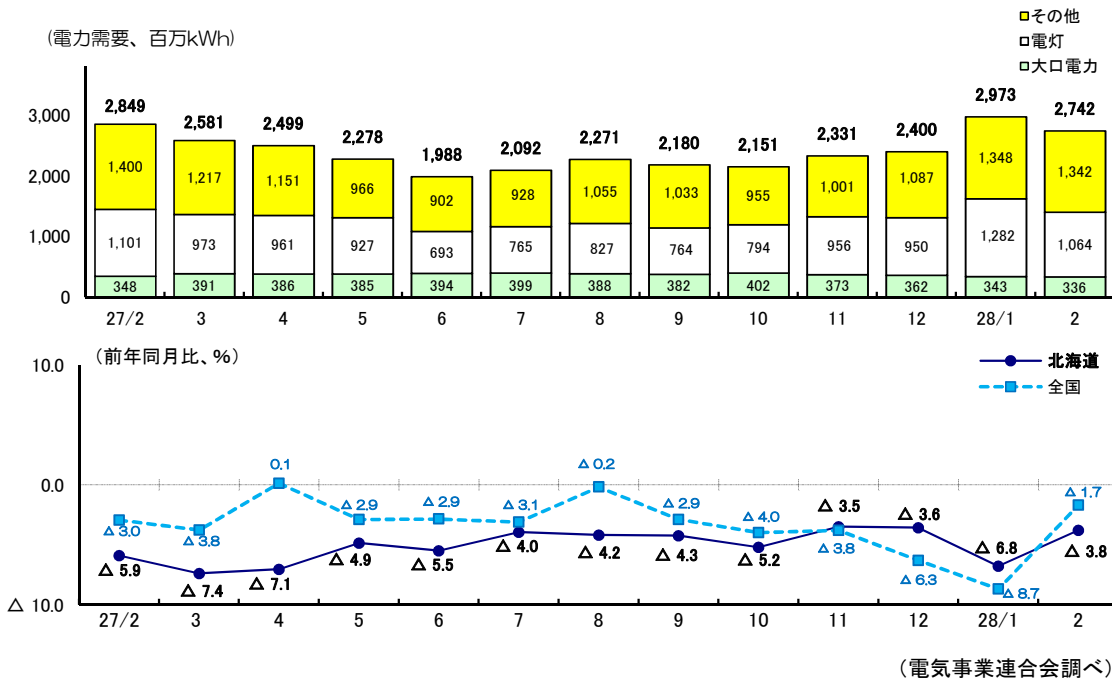
鉱工業生産指数(季節調整済)は、93.3で前月比0.4%の低下となり4か月ぶりに前月を下回った。



■電 力 ～ 前年を下回った

◆電力需要（2月）◆

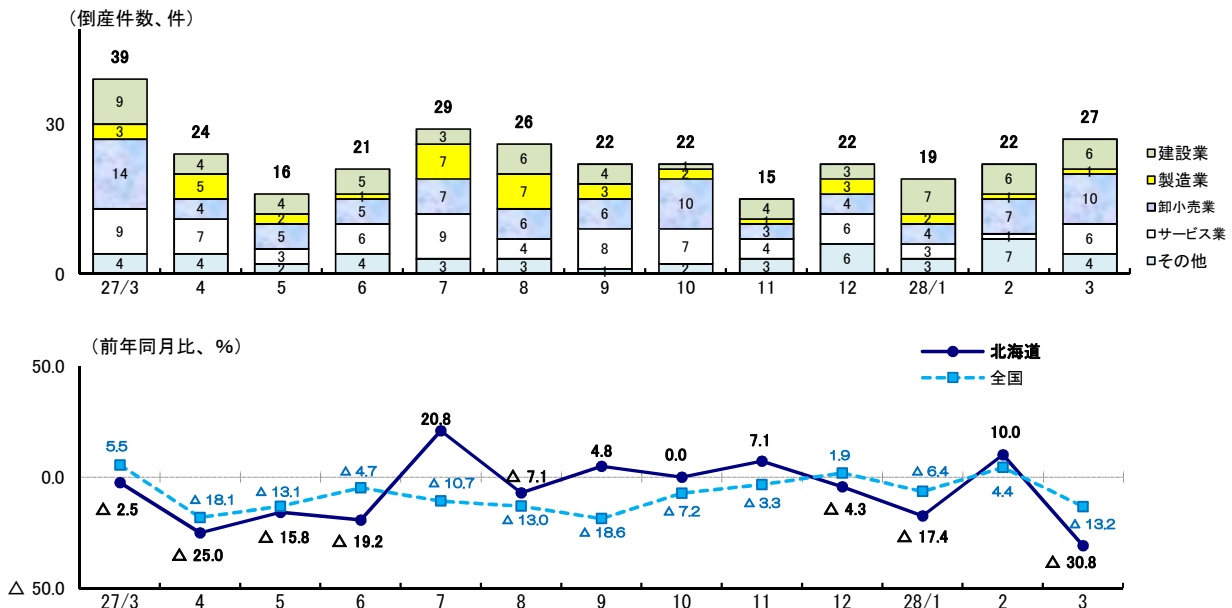
電力需要は、2,742百万kWhで前年同月比3.8%の減少となり、13か月連続で前年を下回った。



■企業倒産 ～ 倒産件数、負債総額とも減少した

◆企業倒産件数（3月）◆

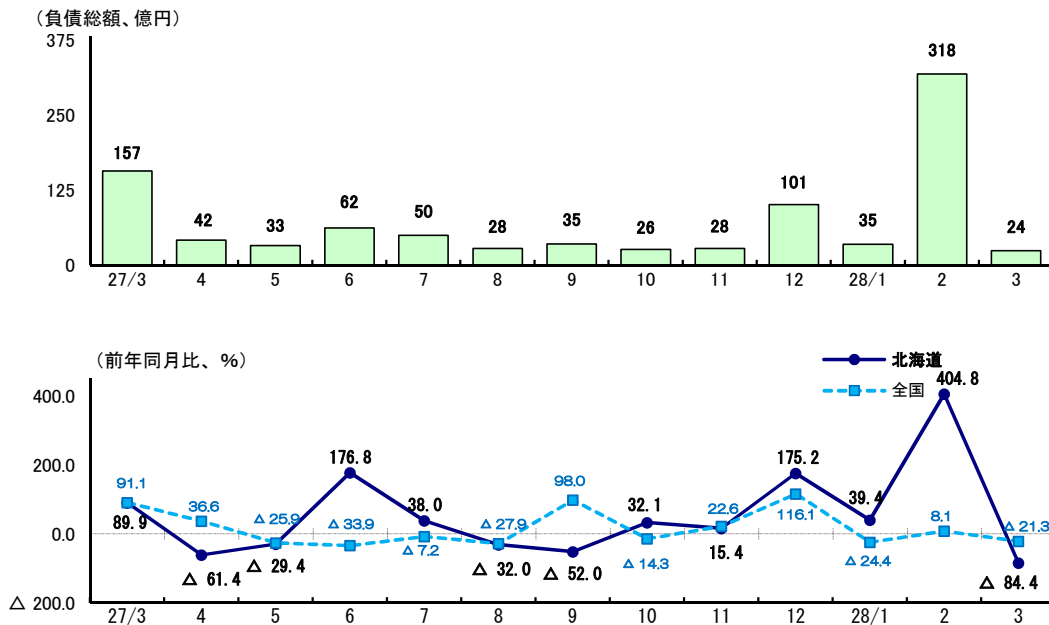
企業倒産件数は、27件で前年同月比30.8%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（3月）◆

負債総額は、24億円で前年同月比84.4%の減少となり、6か月ぶりに前年を下回った。



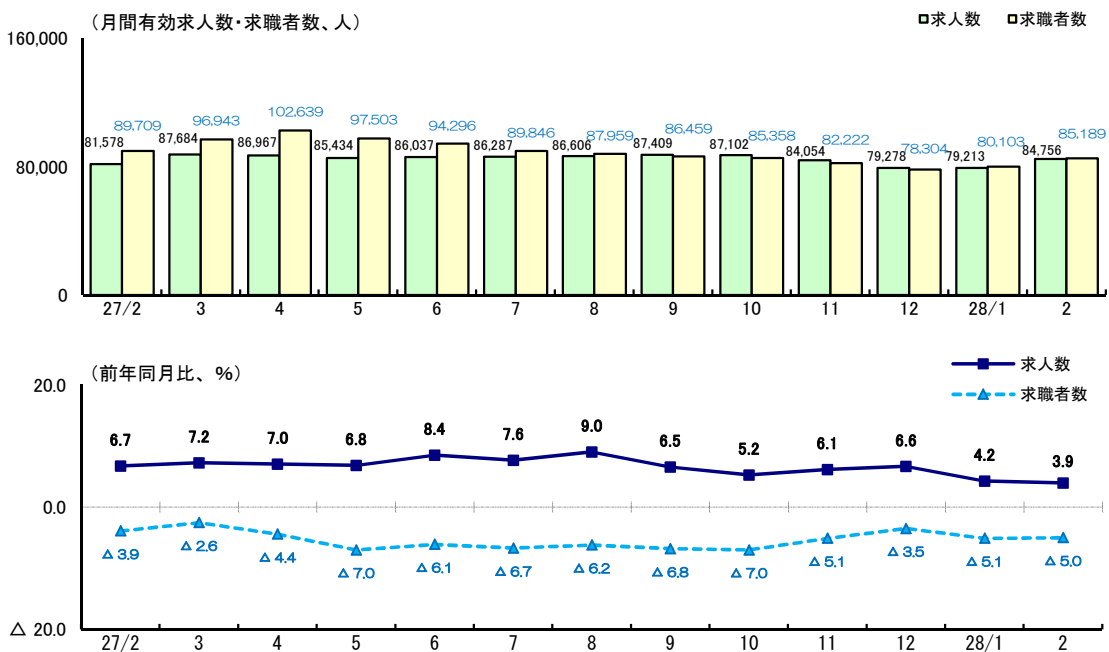
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～ 改善している

◆月間有効求人数・求職者数（2月）◆

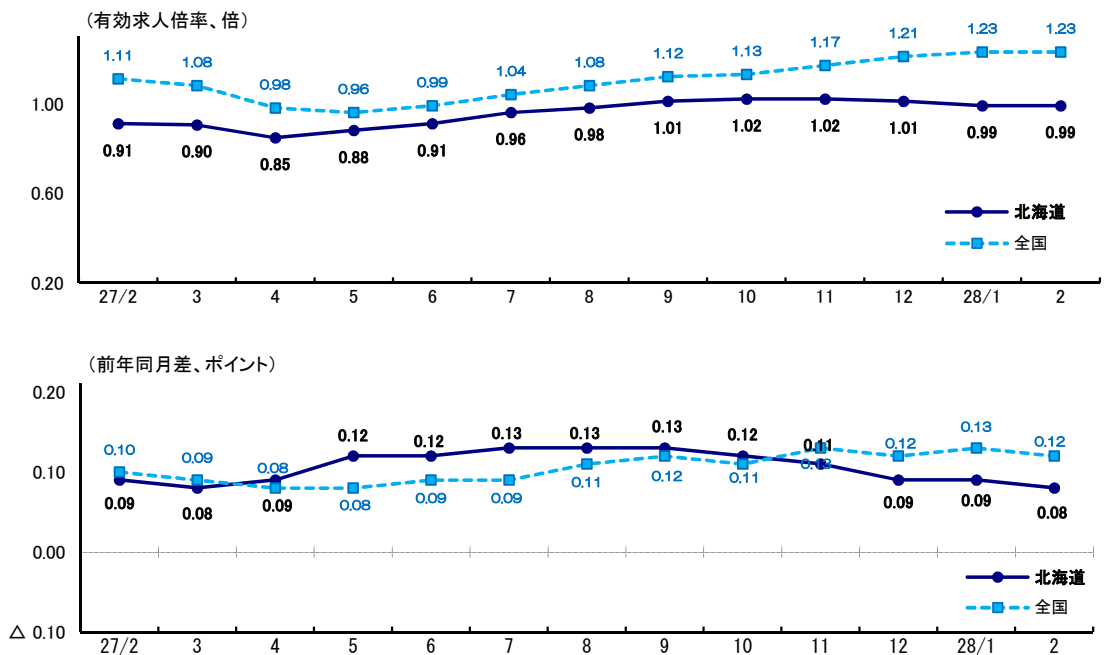
月間有効求人数は、8万4,756人で前年同月比3.9%の増加となり、73か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万5,189人で同5.0%の減少となり、52か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（2月）◆

有効求人倍率は、0.99倍で前年同月差で0.08ポイントの増加となり、73か月連続で前年を上回った。

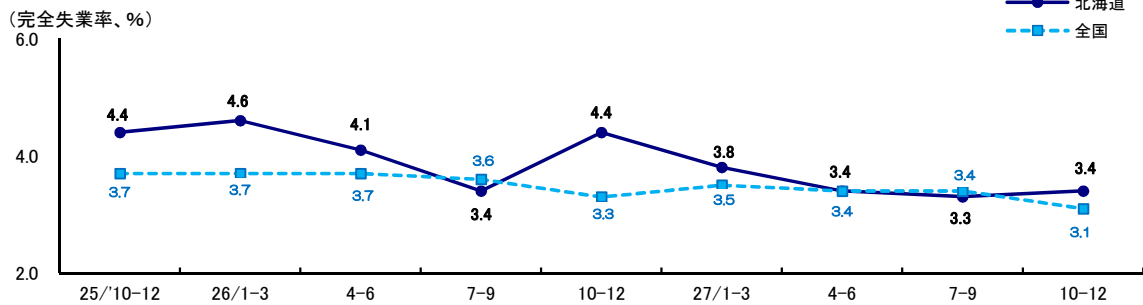
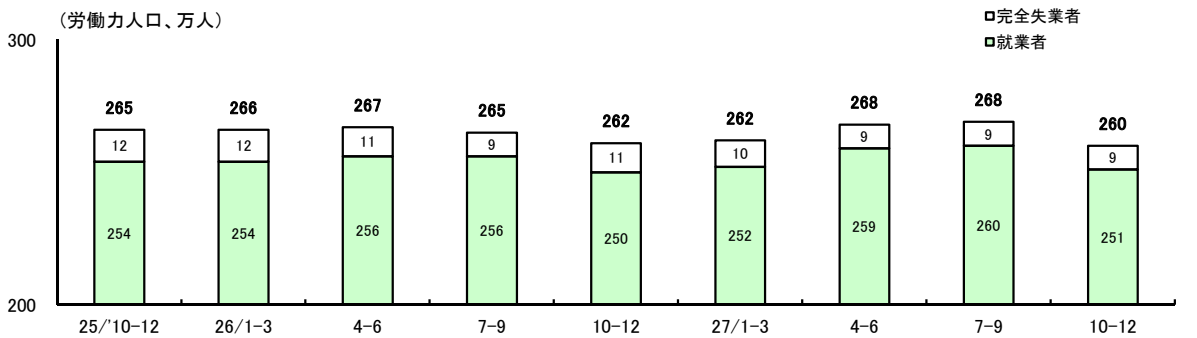


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（27年10-12月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期差で2万人の減少となっている。
完全失業率は、3.4%で前年同期から1.0ポイント低下した。



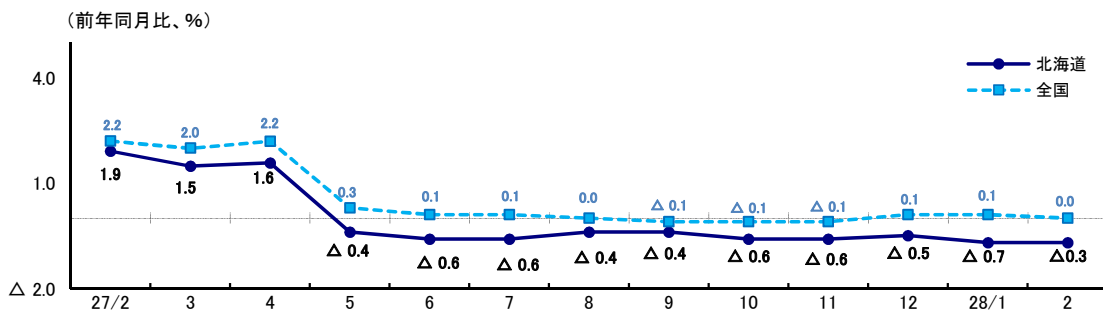
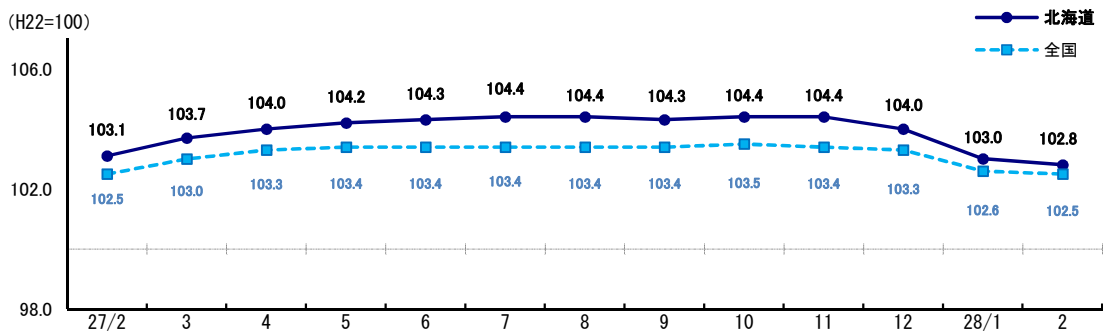
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価 ～ 消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（2月）◆

消費者物価指数は、102.8で前年同月と比べ0.3%の低下となり、11ヶ月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【インバウンドの売れ筋商品に変化】

3月は、天候に恵まれたものの、気温の低い寒い日が多かったことから、主力商品である婦人衣料の春物コートなどが振るわず、さらに、海外の人気ブランド商品のライセンス終了が影響し、売上は前年を下回った。

また、インバウンドの(免税)販売件数は微減であったものの、売れ筋商品が高額な海外製の時計や宝飾品から比較的単価が低い化粧品や雑貨類にシフトしたため、客単価が抑えられ、売上は前年を大きく下回った。

◆スーパー(道央圏)

【節約志向が続く】

前年と比べ日曜日が1日少なかったことから、既存店ベースでは客数が減少し、売上は前年をやや下回った。

品目別にみると、販促により牛肉や冷凍食品は売上が伸びたものの、レタス、キャベツ等、値上がりにより売上が減少した品目もあった。

また、商品の値上がりにより1品単価は上がっているが、客単価は横ばいとなっており、お客様の節約志向が続いていると感じている。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【堅調に推移】

3月は、最低気温が例年に比べ低めに推移したことから、朝晩の来客数が減少したものの、客単価が上昇したことで、売上は前年を若干上回った。

たばこについては、4月から一部の銘柄で値上げが実施されるため、駆け込み需要を期待していたが、買いだめをする動きはなく、売上は前年並みとなった。

【地域の動き堅調に推移】

道南地域の一部店舗において、「北海道新幹線の開業」に関連した商品を販売したところ、売上が若干増加した。

さらに、スキー場のあるニセコ地域や洞爺湖・登別温泉街地域では、外国人観光客の来客数が増え、売上が増加した。

◆洋菓子製造販売業(道央圏)

【売上は好調に推移】

3月は雑祭り、ホワイトデー、年度末の行事での利用など、12月に次いで行事が多い月であり、客足も良かったことから、売上については前年を上回って推移した。

本州の店舗での焼き菓子の売れ行きが好調で、全体の売上げを押し上げる好要因となった。

【依然として続く原材料の高騰】

アーモンドは価格が若干落ち着いてきたものの、生卵をはじめカカオ・チョコレート・乳製品などの他の主要な原材料は依然として高騰が続いており、生産コストに悪影響を与えている。

【生産コストの抑制に努める】

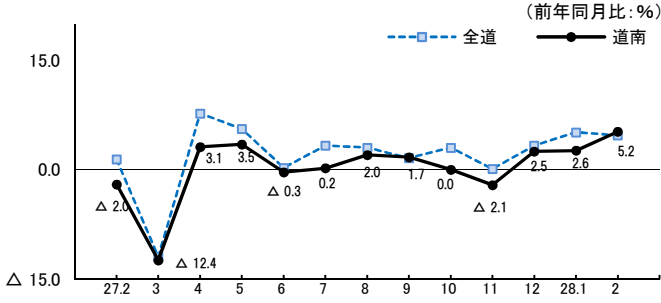
コストの抑制については、店舗照明のLED化など、出来る限りの対策を講じているが、焼き菓子用の工場のオープンの燃料を「LPガス」から安価な「都市ガス」に換えるなど、さらなる生産コストの削減に努めるよう努力していきたい。

[地域の経済動向]

■道南圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆

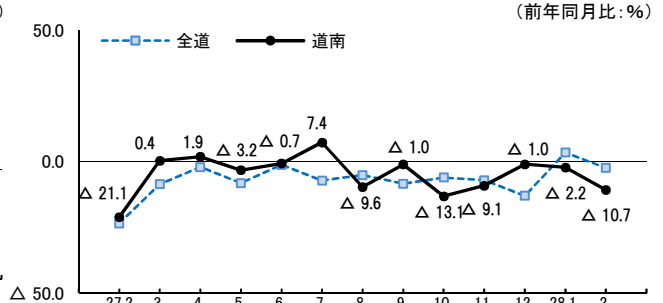
(全店、函館市)
3か月連続で前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

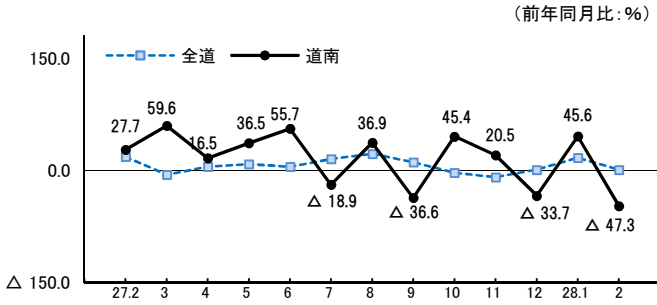
7か月連続で前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(2月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

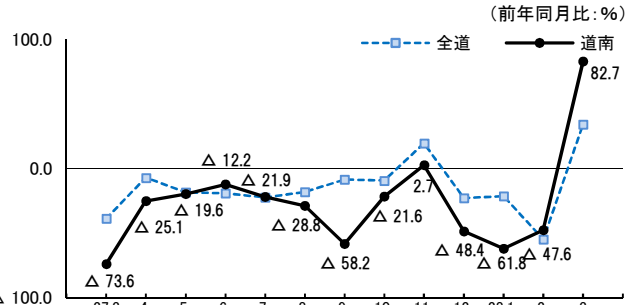


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)◆

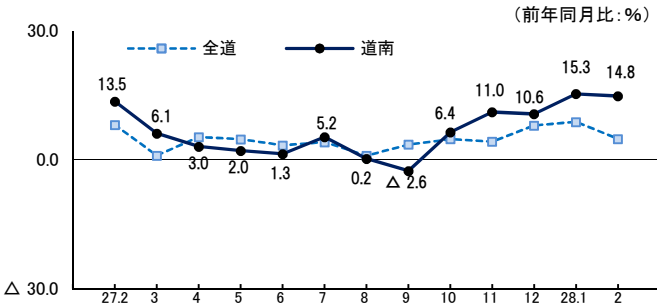
4か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

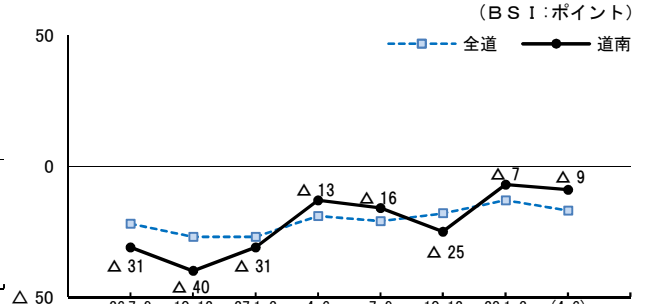
5か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



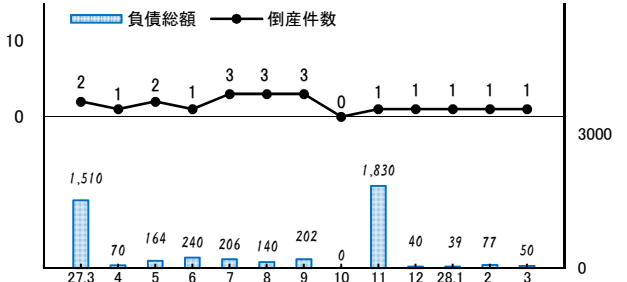
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

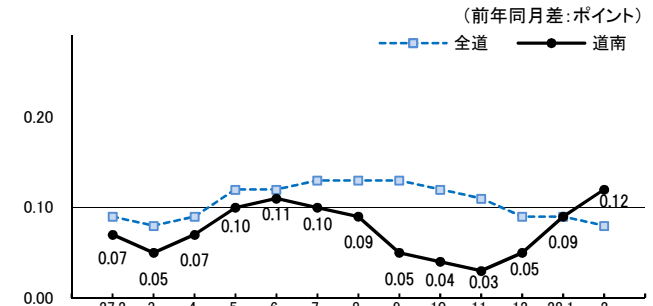
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(2月)◆

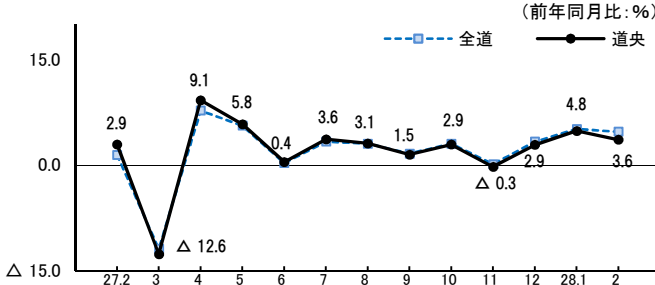
70か月連続で前年を上回った



(北海道労働局調べ)

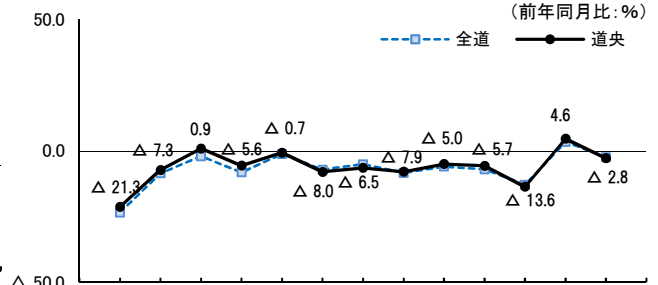
■道央圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆ (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市) 3か月連続で前年を上回った



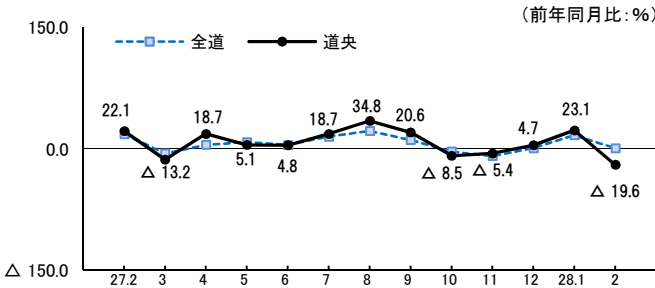
(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆ 2か月ぶりに前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

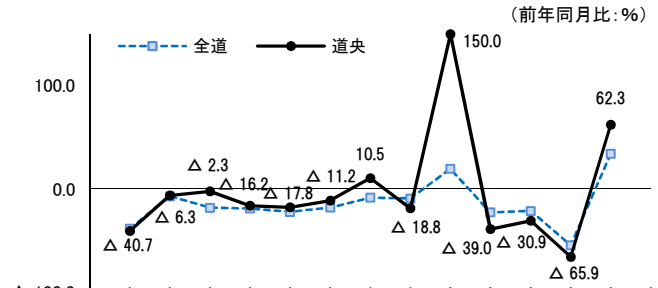
◆新設住宅着工戸数(2月)◆ 3か月ぶりに前年を下回った



※町村を除く

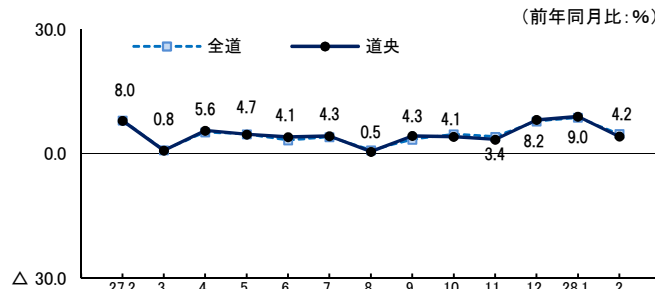
(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)◆ 4か月ぶりに前年を上回った



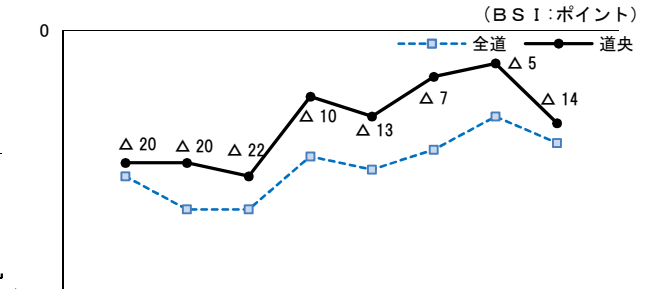
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆ 20か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

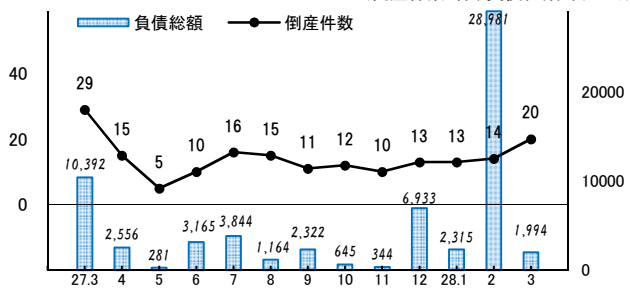
◆企業の業況感(1-3月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



※最新期()は見通し

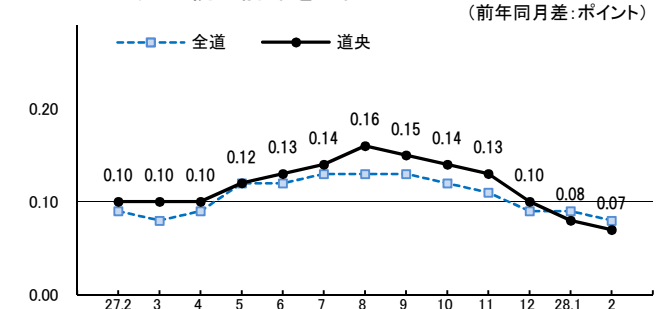
(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった (倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(2月)◆ 72か月連続で前年を上回った

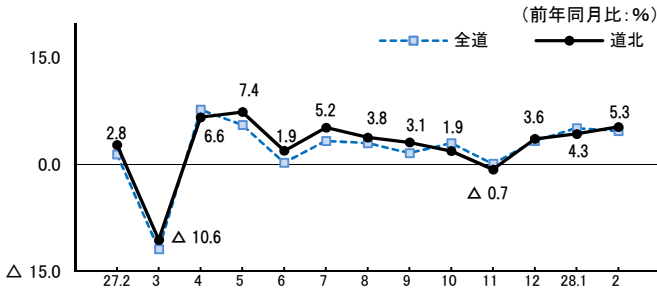


(北海道労働局調べ)

■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆

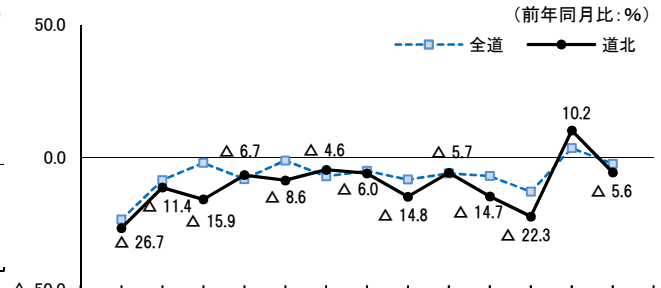
(全店、旭川市)
3か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

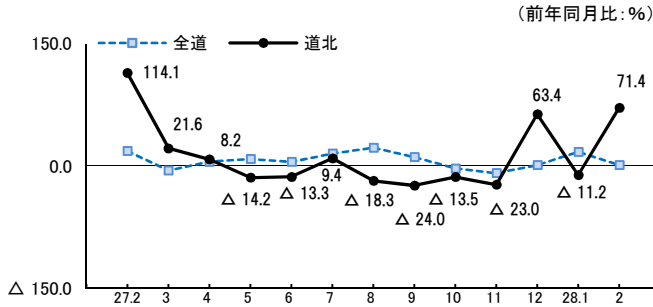
2か月ぶりに前年を下回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(2月)◆

2か月ぶりに前年を上回った

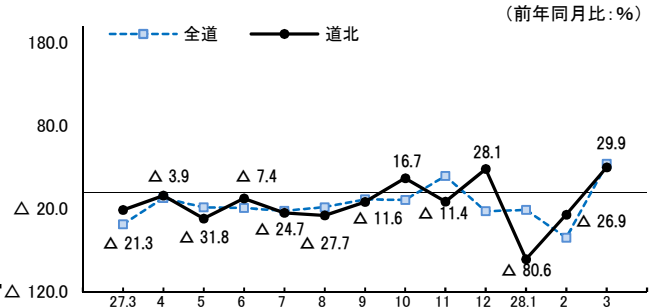


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)◆

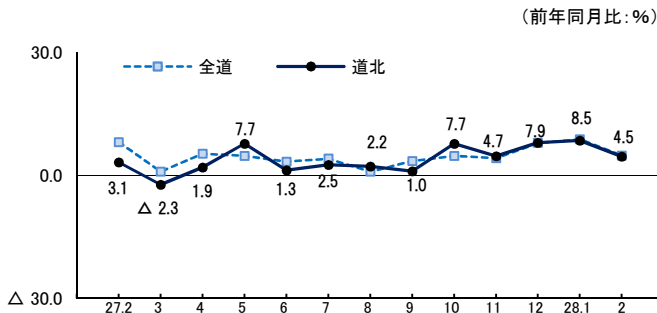
3か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

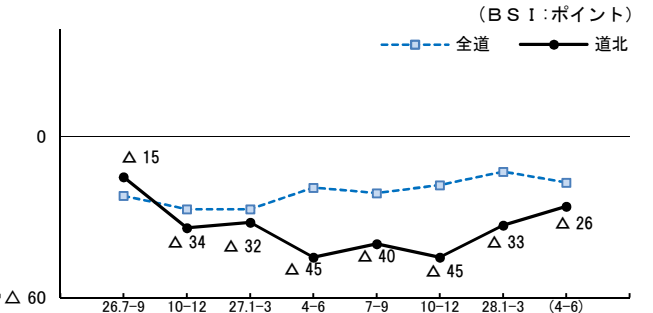
11か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



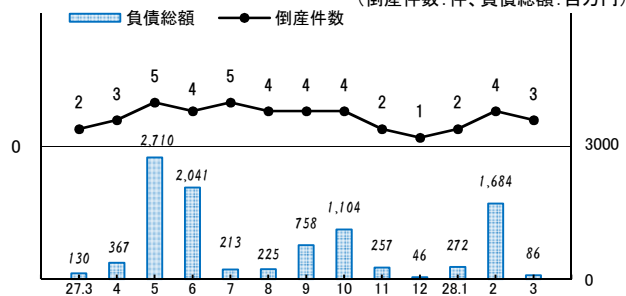
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

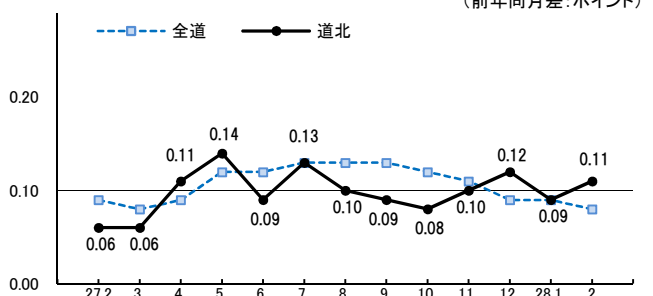


(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(2月)◆

74か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

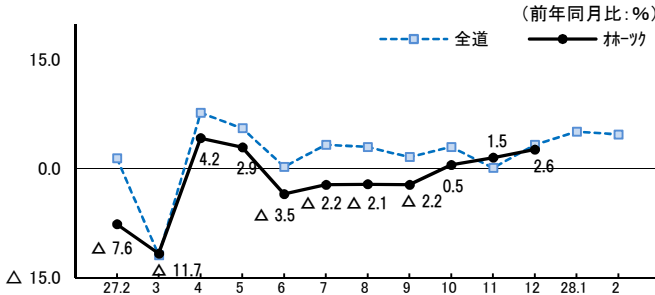


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高（全店）（12月）◆

3か月連続で前年を上回った

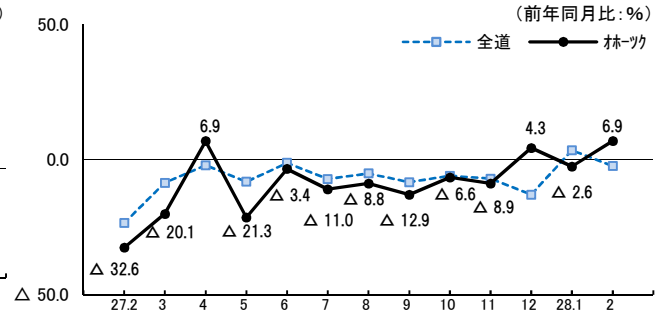


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)（2月）◆

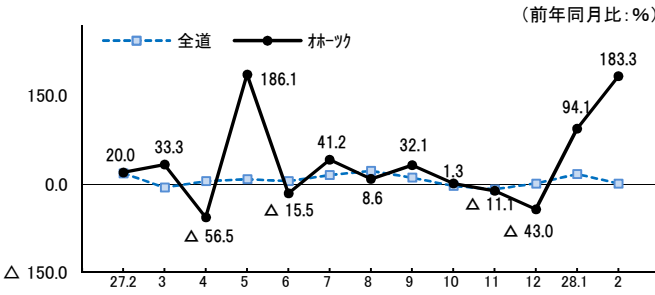
2か月ぶりに前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数（2月）◆

2か月連続で前年を上回った

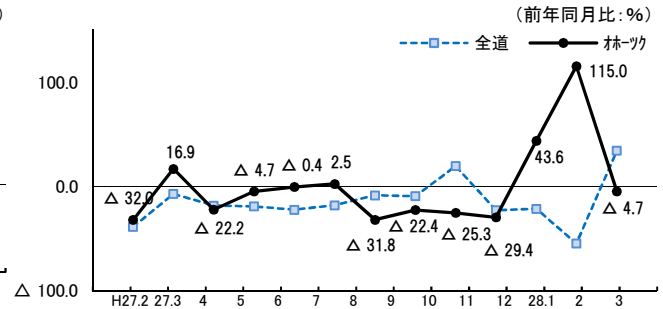


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額（3月）◆

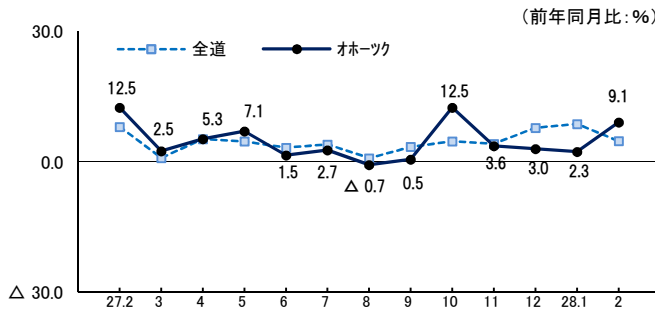
3か月ぶりに前年を下回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)（2月）◆

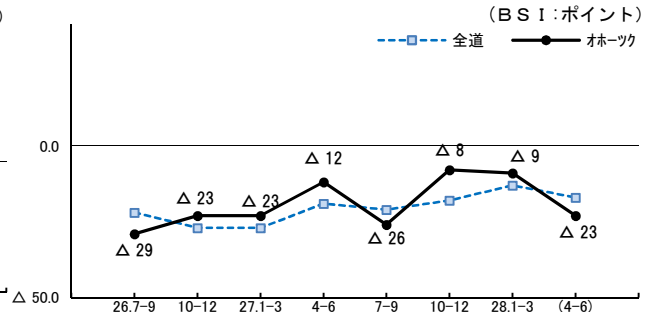
6か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感（1-3月期）◆

前期からマイナス幅が拡大した



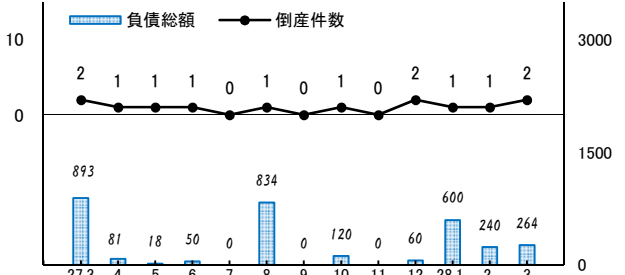
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額（3月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

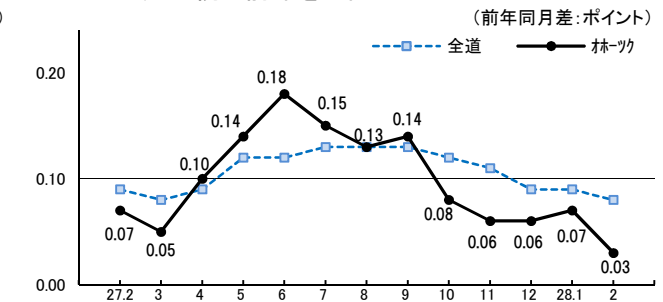
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率（2月）◆

77か月連続で前年を上回った



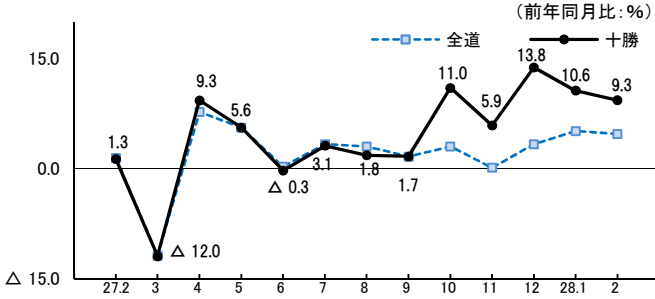
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆

(全店、帯広市)

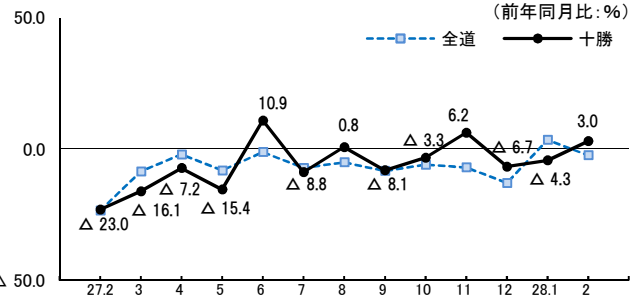
8か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

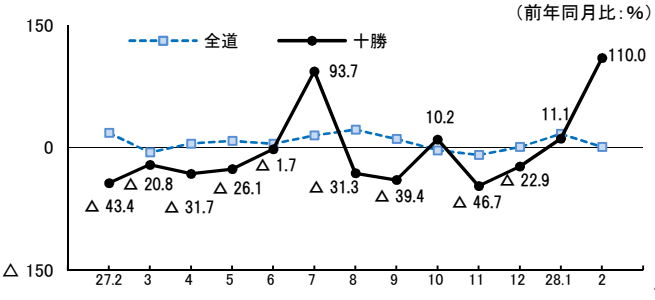
3か月ぶりに前年を上回った



(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(2月)◆

2か月連続で前年を上回った

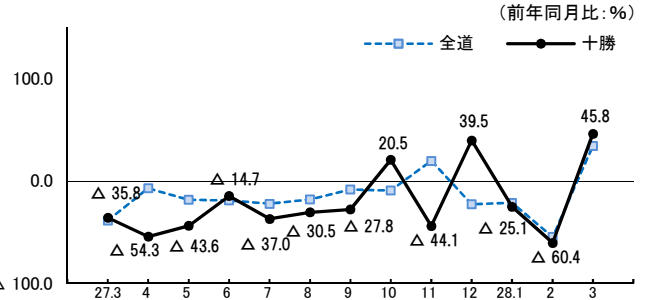


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)◆

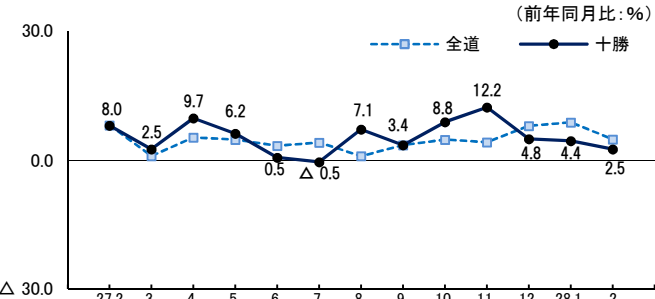
3か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

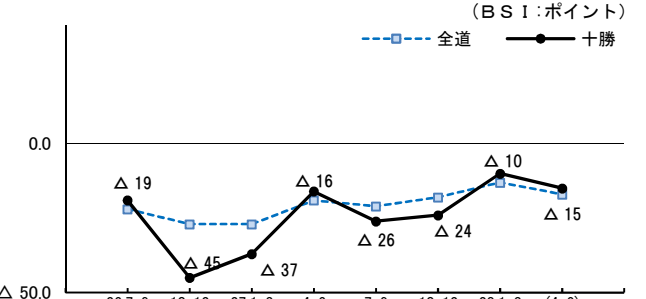
7か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(1-3月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



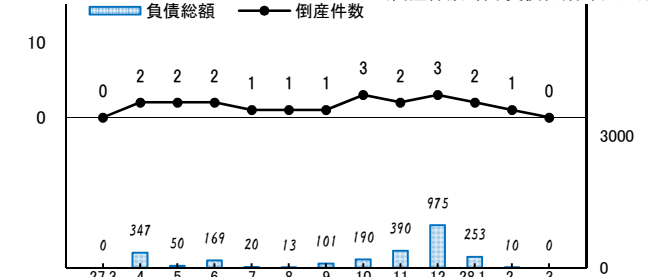
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆

倒産は発生しなかった

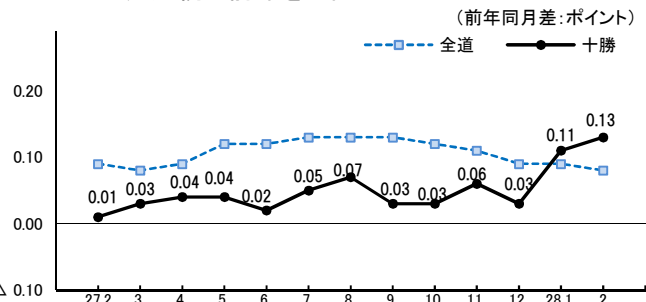
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(2月)◆

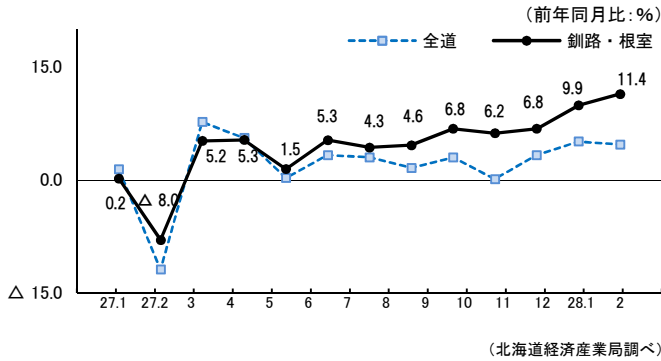
15か月連続で前年を上回った



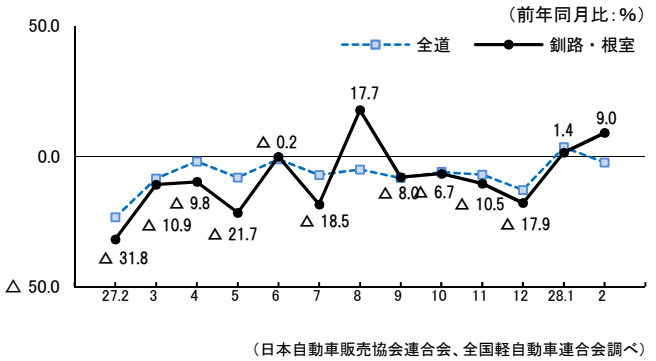
(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

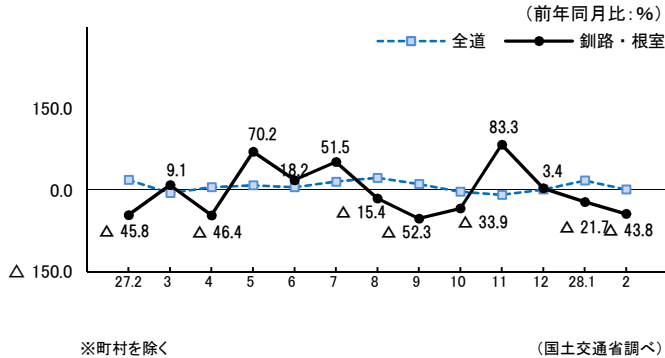
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆ (全店、釧路市) 11か月連続で前年を上回った



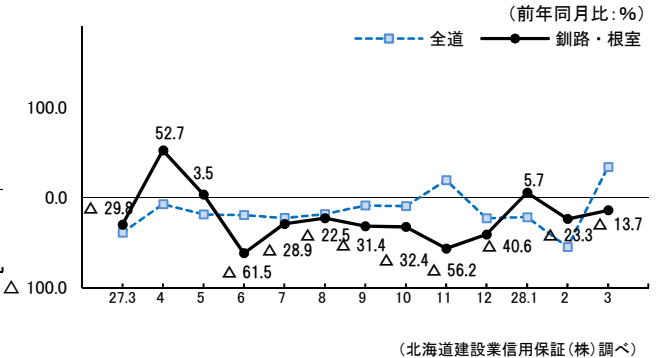
◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆ 2か月連続で前年を上回った



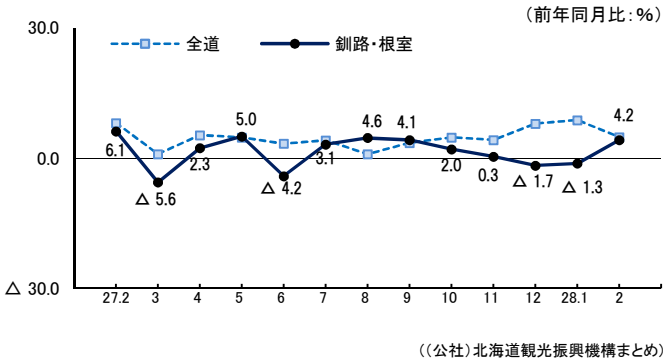
◆新設住宅着工戸数(2月)◆ 2か月連続で前年を下回った



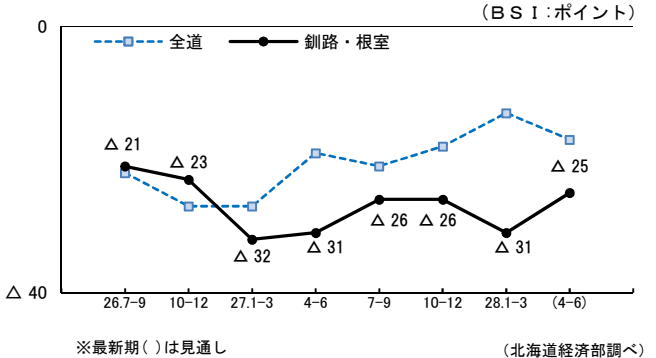
◆公共工事請負金額(3月)◆ 2か月連続で前年を下回った



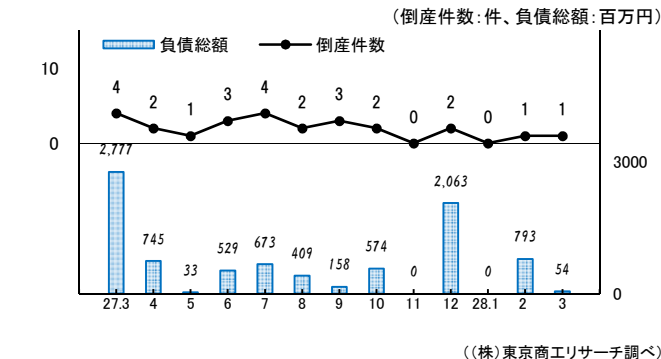
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆ 3か月ぶりに前年を上回った



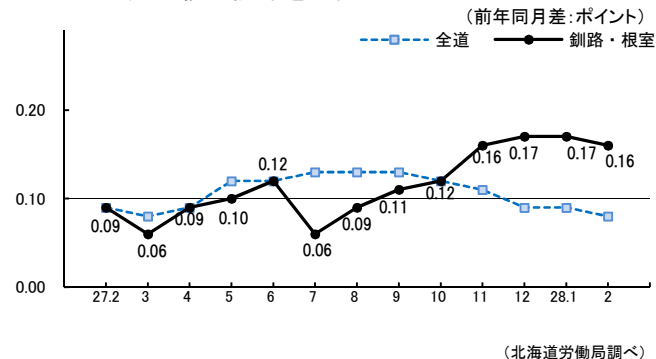
◆企業の業況感(1-3月期)◆ 前期とマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



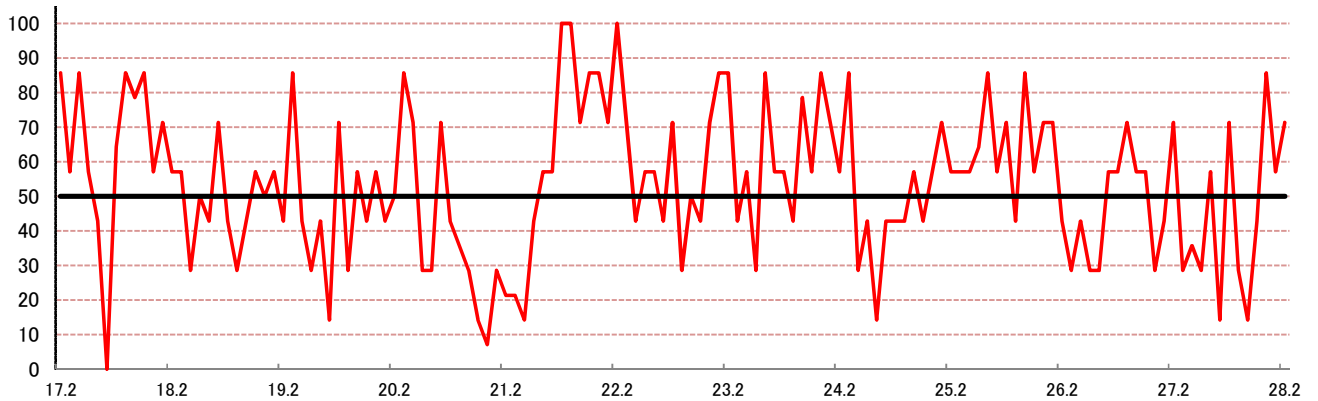
◆有効求人倍率(2月)◆ 75か月連続で前年を上回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系列名		27/ 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28/ 1月	2月	
先行系列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	+	-	-	+	+	+	-	-	+	+	+	+	
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	+	+	+	+	-	+	-	-	-	-	+	
	生産指数(生産財)	+	+	-	-	-	-	+	-	-	-	-	r 0	p -	
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	-	
	新設住宅着工戸数	-	-	+	+	+	-	+	+	+	-	+	-	-	
	企業倒産件数(逆サイクル)	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	-	+	
	企業業況判断D.I.	-	-	+	+	+	-	-	-	-	+	+	+	0	0
	拡張系列数	2	2	4	4	5	2	4	3	4	4	4	4	4	2.5
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	28.6	28.6	57.1	57.1	71.4	28.6	57.1	42.9	57.1	57.1	57.1	57.1	r 57.1	p 35.7
一致系列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	-	-	+	+	-	-	+	-	+	+	+	+	
	生産指数(鉱工業)	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	r +	p +	
	出荷指数(生産財)	+	+	0	-	-	-	+	-	-	+	-	r -	p -	
	大口電力使用量	+	-	-	-	+	-	+	-	-	-	+	+	+	
	百貨店販売額(既存店)	+	-	+	+	+	-	-	+	-	-	+	r -	p +	
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	-	-	-	+	+	+	-	+	-	+	-	+	
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	-	-	-	-	+	-	-	+	+	r +	p -	
	拡張系列数	5	2	2.5	2	4	1	5	2	1	3	6	4	5	
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	一致指数	71.4	28.6	35.7	28.6	57.1	14.3	71.4	28.6	14.3	42.9	85.7	r 57.1	p 71.4	
遅行系列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+		
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	-	-	-	0	0	-	+	+	+	0	0	
	消費者物価指数(総合)	-	-	-	-	-	+	+	-	-	0	-	-	0	
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	-	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-	
	生産指数(資本財)	-	+	-	+	+	+	-	+	-	+	-	r -	p -	
	拡張系列数	3	3	0	2	2	2	3.5	3	2	4.5	2	1.5	2	
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	
遅行指数	60.0	60.0	0.0	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	40.0	90.0	60.0	r 30.0	p 50.0		

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。Pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

■全国の景気

我が国経済の基調判断

～景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。～

- ・個人消費は、消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、横ばいとなっている。
- ・企業収益は、非製造業を中心に改善傾向にある。企業の業況判断は、慎重さがみられる。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。また、平成28年(2016年)熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

<内閣府月例経済報告(平成28.4.21)から抜粋>

最近の経済動向
平成28年4月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>